

今日から始める！

「資格と検定」 速習術

学習意欲を維持し
効率的に習得する勉強法

●金融機関で習得する主な資格と検定

対象	資格と検定の例
一般行職員全般	<ul style="list-style-type: none"> 銀行業務検定「法務」「財務」「税務」各3級 金融業務能力検定「金融業務（預金コース）」「金融業務（融資コース）」3級 金融検定「アシスタント・コンプライアンス・オフィサー」 ITパスポート
管理職全般	<ul style="list-style-type: none"> 銀行業務検定「法務」「財務」「税務」2級 金融業務能力検定「金融業務（預金コース）」「金融業務（融資コース）」2級 金融検定「シニア・コンプライアンス・オフィサー」
渉外担当者	<ul style="list-style-type: none"> 銀行業務検定「法人融資渉外」3級～2級 金融業務能力検定「金融業務3級～2級（事業承継・M&Aコース）」「サステナビリティ・オフィサー」 中小企業診断士 ・宅地建物取引士
融資担当者	<ul style="list-style-type: none"> 金融業務能力検定「金融業務3級～2級（事業性評価コース）」 金融検定「資産査定」「融資審査」「決算書分析」各3級～2級 中小企業診断士
ローンセンター／ 営業店住宅ローン 業務担当者	<ul style="list-style-type: none"> 金融検定試験「住宅ローンアドバイザー」 宅地建物取引士
資産運用担当者	<ul style="list-style-type: none"> 銀行業務検定「預かり資産アドバイザー」「年金アドバイザー」「相続アドバイザー」各3級～2級 2級～1級FP技能士、AFP・CFP 2級～1級金融窓口サービス技能士
その他専担部署	証券アナリスト、社会保険労務士、キャリアコンサルタントなど

(出所) 地方銀行・信用金庫などの取材を基に編集部作成

資格・検定を
効率的に習得することで
自分の付加価値を
高めよう

金

金融機関に勤めている行
職員は、様々な資格や
検定の取得を奨励される。

「FP1級の資格取得者〇人
を目指す」「サステナブルフ
アイナンスの行内資格を持つ
専門人材を輩出していく」な
ど、特定の資格や検定の取得
について目標を掲げて増やそ
うと取り組む金融機関も少な
くない。図表のように資格・
検定は多種多様で、時流に合
わせて新たな資格・検定が登
場することもある。

何をどれだけ推し進めてい

くかは金融機関の方針次第で
あるが、金融機関に勤めてい
る以上、こうした学習の道は
避けては通れないだろう。特
に地域金融機関では、資格や
検定は昇格・昇給の要件に組
み込まれている。それを満た
さなければ、担当業務で目標
を達成してこなくても昇格・
昇給は難しくなってしまう。

**学習を通じて
業務の幅も広げよう**

一方で、日々忙しい行職員
が合格を勝ち取るには、勉強
時間を捻出し相応の努力を継
続する必要がある。そこで本
特集では、効率的に学習する
ための方法や、FPや宅建士
といった主な資格の学習法を
紹介する。スムーズに学習で
きれば仕事の幅を広げられ
うえ、結果的に担当業務に集
中しやすくなるはずだ。ぜひ
一助としてほしい。